

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名 小・中学校の新型コロナウイルス感染症対策と子どもの健康について

質問要旨

2020年の年明けから新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威をふるい、日本でも感染者が日に日に増えていきました。そのような中、国が突然全国の学校に一斉休校を要請し小平市でも子どもたちの学びをはじめ遊びや生活に大きな影響がありました。現在、2度目の緊急事態宣言が発出されていますが、市内小・中学校は感染症対策を講じながら教育活動を行っています。

感染症対策について、夏場のマスク着用は熱中症の心配もあることから人との身体的な距離をとりながら外してもよいなど工夫を行っていました。

一方で冬場での感染症対策では換気で教室の窓を開けるため、寒くて授業に集中できない、中学3年生の保護者からは受験を控えている中で風邪を引かないか心配などの声が届いています。

また学校で新しい生活様式を取り入れ、教育活動を行っていく教員の負担は大きくないか、子どもたちと保護者の声をどのように受け止めているのか懸念しています。

学校での感染症対策は適切に行われているのか、子どもたちの心とからだの健康にどのように留意しているのかについて以下質問します。

- ① 市立小・中学校内での新型コロナウイルス感染症対策は何に基づいて行われていますか。
- ② 感染症対策を講じることと子どもたちの健康を維持することは両立できているか以下質問します。
 1. 冬場は換気により教室内の温度が下がりますが、寒さ対策はどのように行っていますか。
 2. 長引く感染症対策(3密を避けるなど)によりストレスを抱えていると思われる児童・生徒への対応は。
 3. 感染者や濃厚接触者に対する差別や偏見をなくすための指導はおこなっていますか。
 4. 感染症対策としてマスクの着用は有効と考えていますが、児童・生徒が常時マスクを着用することの弊害についての見解は。
 5. 感染者や濃厚接触者の疑いありとなった場合の欠席の扱いについてお示してください。
- ③ 感染症対策と食育の関係について以下質問をします。
 1. 給食の配膳方法はどのようにおこなっていますか。
 2. 給食の時間の過ごし方について「各々が前を向き、無言で食べる給食」はいつまで続けるか見解は。
- ④ 新入学説明会は緊急事態宣言下の開催でしたが、工夫した点はありますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2021年 2月 10日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)